

地域のつながり 四日市居場所ネットワーク通信

第3号

発行月:2024年11月

発行者:NPO 法人市民社会研究所 (委託者 四日市市)

四日市の「居場所」のご紹介

おのえ作業所 (NPO 法人四日市市知的障害者育成会)

おのえ作業所は、障害のある子どもたちの学校卒業後の進路を何とかしたいという保護者の思いから、1984年に事業所をスタートさせました。その後、障害者自立支援法の施行にともない、2008年から「おのえ作業所」(就労継続支援B型作業所)として活動しています。



新しいおのえ作業所



段ボールの組み立て作業現場

現在、利用者18名、職員8名で、段ボールの組み立て作業を行っています。作業は、トラックで運んだ大量の段ボールを降ろし、組み立て、組み立てた段ボールをトラックに積む等があり、利用者の特性に合った場所で作業能力を発揮しています。

黙々と作業をこなしながらも、利用者の皆さんの楽しそうな雰囲気が伝わってきました。

北勢地域若者サポートステーション

「働きたいけど、どうしたらいいのかわからない」

北勢地域若者サポートステーション(ほくサポ)は、15歳~49歳までの働きにくさを抱えた若者の就労支援(無料)を行っている、厚生労働省委託の支援機関です。

主な支援内容は、

- ①相談(予約制): しっかり話し合い、専門知識をもったスタッフと連携して、一人ひとりの最善の解決策を検討していきます。
- ②各種支援(予約制): コミュニケーションやビジネスマナー講座、パソコン講座、ボランティア活動等、様々なことが学べます。
- ③就職: 就職活動に必要なきめ細やかな情報提供を行います。

ほくサポは、「働きにくさを抱えた若者」の一步を踏み出すための居場所となっています。



ほくサポのキャラクター「タスケ」



相談



ゴミ拾いボランティア

ゲームを使った 新しい居場所スタイル

四日市市手をつなぐ育成会

四日市市手をつなぐ育成会は、知的・発達障害を抱える人（子ども）とその支援者が、一人では参加しにくい活動を助け合い・気兼ねなく・楽しく参加できるようにしている団体です。今回は、毎月第4日曜日に開催しているお話会で、ボードゲームを活用した居場所交流を行いました。

ボードゲーム指導者の川北さん(NPO法人津市NPOサポートセンター理事長)と事前に打ち合わせを行い、数あるボードゲームの中から、参加者の特性に合ったボードゲームをいくつかピックアップして用意していただきました。全員参加で、決めたルールを基に順番を予想して並べるゲームをしたり、グループに分かれ、バランスゲームや判断力が試されるゲームなど、スタッフ含め12名が参加され、どれもとても盛り上がりがありました。



子どもも大人もみんなで楽しめるゲーム



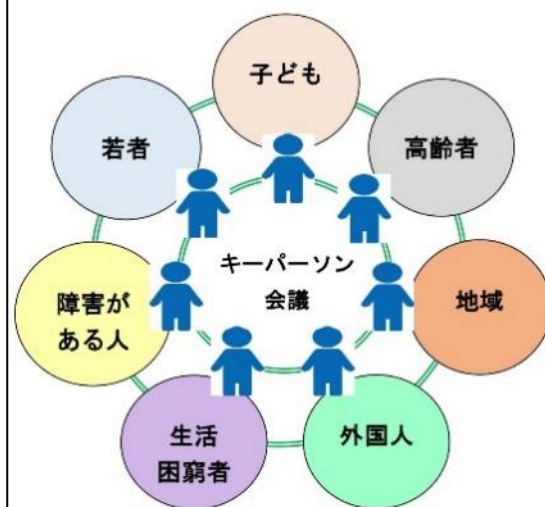
屋根(カード)を崩さず取れるかな

四日市居場所ネットワークとは

四日市市内には、こども食堂や高齢者サロン、学童保育所、認知症カフェなど、さまざまな福祉的居場所があります。子ども、若者、高齢者、障害者、外国人、生活困窮者等のさまざまな分野の居場所がつながり、総合的な居場所ネットワークをつくっていきます。

居場所ネットワークができると、いろんな分野の居場所どうしの交流や、居場所を運営する人どうしが、すぐに困りごとを相談したり、情報共有できたりと、様々なメリットがあります。興味を持たれた方は問合せ先までご連絡ください。みんなで一緒につくりましょう！

四日市居場所ネットワークのイメージ



【問合せ先】

発行者：NPO 法人市民社会研究所（委託者：四日市市健康福祉部福祉総務課）

住 所：〒510-0086 四日市市諏訪栄町 3-4

電 話：059-355-5115 メール：ssk21ww@yahoo.co.jp

※電話は「伊勢おやき本舗」で出ます